

## アンゴラ：連帯抗議で収監されていた 4 人が自由に！



今年 1 月 6 日、活動家のアドルフォ・カンポスさん、アブラアン・ペドロ・サントスさん、ジルソン・モレイラさん、エルメネジルド・ヴィクトル・ジョゼさんが、大統領恩赦を受けて釈放されました。4 人は、証拠もないまま「不服従および命令への抵抗」の罪に問われ、2 年 5 カ月の実刑判決を受けました。

4 人は 2023 年 9 月に平和的デモへの参加を理由に逮捕され、数日後、証拠不十分なまま実刑判決を受けました。9 月 16 日、4 人はアンゴラの首都ルアンダでオートバイタクシー運転手への連帯を示す平和的デモに参加する直前に逮捕されました。逮捕から 3 日後、4 人は「命令への抵抗と不服従」の罪で 2 年 5 カ月の実刑判決を受けました。弁護人は判決に対して上訴と不服申し立てをしましたが、いずれも却下されました。拘留中、サントスさんを除く 3 人は体調を崩しましたが、満足な治療を受けられなかったため、病の悪化に苦しめられました。

アムネスティは、一昨年末から 2 回の緊急行動 (UA) を実施し、アンゴラ国内外での活動を通じて 4 人の釈放を訴えてきました。この緊急行動により、世界中の個人や団体が声を上げ、それが昨年 12 月の大統領恩赦につながったと言えます。

4 人の一人サントスさんは次のようなメッセージをアムネスティに送ってきました。

「妻が刑務所に持ってきてくれたアムネスティからのメッセージに目を通すたびに、『自分はひとりではない』と奮い立ちました。そして、自分に言い聞かせました。遅かれ早かれ、アムネスティが私を刑務所から釈放してくれるだろうと。そして今、それが現実になったのです」

アムネスティの要請に応じてサントスさんの釈放を訴えるレターを寄せてくださったすべての皆さんに感謝いたします。

## エジプト：5 年近く投獄されていた学生がようやく釈放



抗議活動に参加して投獄されていたエジプトの学生バドル・モハメドさんが 2 月 25 日、釈放され、家族の元に戻りました。高等裁判所が控訴審で、刑期を 5 年から 1 年に減刑したことで、モハメドさんの早期の釈放が実現しました。

17 歳だった 2013 年の 8 月 16 日、ラムセス広場であった抗議活動に参加したモハメドさんは、2023 年 1 月の不公正な裁判で実刑 5 年を言い渡されました。裁判は極めて不公正で、十分な弁護を受ける権利や証人尋問や自身の証人を呼ぶ権利を奪われました。収監中は、投獄中に生まれ娘と過ごす時間も十分与えられませんでした。

モハメドさんの釈放は、2024 年 2 月 9 日に裁判所が、2013 年の抗議活動に関する罪について、モハメドさんが当時未成年だったことを考慮し、エジプトの子ども法に基づいて刑期を 1 年に減らしたことによるものです。

モハメドさんの不当な収監に対して、世界中の支援者がエジプト当局にモハメドさんの釈放を求める手紙を送りました。釈放後、モハメドさんは、アムネスティの会員や支援者に感謝のメッセージを送ってきました。

「アムネスティが不当に拘束されている私を支援し、当局に早期の釈放を訴え続けてくれたことが減刑につながりました。心から感謝します。みなさんの支援活動が、早期に釈放され、家族と静かな時間を過ごすための自由を確保する上で重要な役割を果たしました。人権へのあなたたちの取り組みに本当に感謝しています」

アムネスティは、エジプトで恣意的に投獄されている人たちの釈放を引き続き訴えていきます。

## トルコ：女性活動家釈放される



3月4日、人権擁護者ニメト・タンリクルさんは、イスタンブール重刑裁判所の一時的な釈放を認める決定により、シンジャン刑務所から釈放されました。ただ、釈放の条件として渡航禁止と報告義務を課せられました。

本件に関してご支援くださった皆さまに心からお礼を申し上げます。

タンリクルさんは、トルコにおける人権および女性の権利を擁護する著名な活動家で、トルコ人権協会の創設メンバーでもあります。また、強制失踪の犠牲者の家族や支援者からなる『土曜日の母たち／人びと』を支援する活動でも知られています。タンリクルさんは昨年11月29日からアンカラの女性刑務所に仮勾留され、「テロ組織の一員」との容疑がかけられていました。

タンリクルさんは釈放された一方で、起訴は継続中であり、次回の公判は4月22日に予定されています。釈放後、アムネスティ・トルコ支部に対して、次のようなメッセージを寄せました。「連帯、特に国際的な連帯は非常に重要です。皆さんの支援は、私やシンジャン刑務所にいる他の人たちに力を与えてくれました。皆さんの支援がなければ私の釈放は実現しなかったでしょう。連帯が生き延びる力を与えるのです。皆さんの取り組みに感謝します」

タンリクルさんと支援者は、アムネスティの活動により世界中の人びとが彼女の状況に関心を寄せ、釈放に向けて大きな力となったと、繰り返し語っています。

アムネスティは、トルコの人権擁護者が引き続き恣意的拘禁や嫌がらせ、政治的動機に基づく告発などの重大なリスクに直面していることを報告しています。また、国際的な連帯と人権擁護者への支援がますます重要であることも確認しています。

タンリクルさんが受けたような人権侵害が続く限り、世界の連帯とその影響力が今後も重要や役割を果たします。

## モロッコ：ウイグル人活動家ら 釈放される

モロッコで3年7カ月間拘束されていたウイグル人活動家イドリス・ハサン（中国名：イディレシ・アイシャ）さん（36歳）が、2月12日に釈放されました。ハサンさんは2021年7月、カサブランカ空港で逮捕され、中国の要請に基づいてテロ容疑で拘束されました。ハサンさんがウイグル人に対する人権侵害の実態を記録していたことが、容疑の根拠とされましたが、これは政治的な理由に基づく不当なものでした。中国当局は、「テロリズム」や「過激主義」の定義を法律上広く解釈し、それを口実にウイグル人などのムスリム少数民族を迫害してきました。

インターポールは2021年8月に逮捕令状を取り消しましたが、それにもかかわらず、モロッコ当局はハサンさんの拘束を続けました。モロッコの裁判所は2021年12月、ハサンさんの中国への引き渡しを承認しましたが、これにより彼は恣意的な拘禁、拷問、または強制失踪の危険にさらされていました。アムネスティは、ハサンさんの引き渡しの停止を求め、送還は国際法、特に難民の強制送還を禁じる原則に違反すると警告してきました。

今年2月12日、ハサンさんはモロッコの国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）に移送され、翌日、米国政府により同国への再定住が認められました。2月14日にはワシントンD.C.に到着し、支援者と再会しました。ハサンさんはアムネスティの支援に感謝し、妻のザイヌラ・ハサンさんは「みなさんの支援がなければ、私たちは夫を救い出すことはできませんでした。神のご加護がありますように」と話しました。

アムネスティは世界中の政府に対して、迫害にさらされているウイグル人を保護し、人権と難民保護の義務を果たすよう引き続き求めていきます。

## UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F  
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778  
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円  
郵便振替 00120-9-133251  
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本